

住み慣れたまちの地域福祉を考える地域懇談会PART11

1. HP掲載内容

「住み慣れたまちの地域福祉を考える地域懇談会PART11」が

コミセン湘南大会議室で開催されました。

＜議 題＞ 「オレオレ詐欺の防止について地域でできることを考える」

地域では何が出来るか、何をすべきか

湘南地区社協が企画（市福祉政策課、市社協協賛）、毎年恒例の地域懇談会が平成31年3月2日（土）にコミュニティセンター湘南の大会議室で開催されました。

自治会、民児協、推進協、高齢者団体、ボラセン湘南、まちぢから協議会、地区社協、市高齢福祉介護課、市福祉政策課、茅ヶ崎警察署生活安全課、市社協と幅広く集まって下さった方は52名でした。

今回の議題は昨年に引き続き「オレオレ詐欺」をテーマに昨年より一步踏込んだ形で6グループに分かれて議題に対するグループ討議を行い、グループごとに発表して頂きました。湘南地区の詐欺被害を防ぐ為に何をしたいかと言う命題でグループ討議をして頂き、活発かつ有意義であったと思えました。

懇談会の次第（添付）

グループ討議に先立ち

茅ヶ崎警察署生活安全課防犯少年係の里見さんより

「オレオレ詐欺の現状について」の事例を含めた講演を頂きました。

発表は各グループから3、4分でまとめた形で行っていただきました。（貼付写真参照願います）

「オレオレ詐欺」を防ぐために個人で出来る事としては固定電話での被害が多く見られるので留守電設定にする事と、おかしい電話がかかって来たときに相談できるように家族間のきずなを深める意見が出ました。

また、基本的な事でお金の話が出たら応じないように頭に入れておく事が必要であるなど多くの意見が出ました。

グループ発表後に市社協の茂木さんよりグループで話し合った内容やアイデアを地域に持ち帰って出来る事と出来ない事があるがサロンや集会の中で出来る事から実践して行く事が大切と感想を述べられました。

今回の議題は昨年に続き「オレオレ詐欺」を減らす事が重要と言う事で中味の濃い話し合いが出来たのかと思います。

（湘南地区社協PART11事務局）

当日の様子はHPに添付の写真を参照下さい

「住み慣れたまちの地域福祉を考える地区懇談会パート11」

— 議事次第 —

<日 時> 平成31年3月2日(土) 9:45~12:00

<会 場> コミュニティセンター湘南 大会議室(2階)

< 議 題 >

1. 開会の挨拶 湘南地区社会福祉協議会 会長 内藤 徳行
2. 来賓紹介
3. 主旨説明 湘南地区社会福祉協議会 金子 小夜子
講演
茅ヶ崎警察署生活安全課防犯少年係 里見 和信 巡査部長 様
「オレオレ詐欺の現状について」
4. グループ ワーク
テーマ: 「オレオレ詐欺の防止について地域でできることを考える」
地域では何が出来るか、何をすべきか
5. グループ発表
(順次発表)
6. 感想 茅ヶ崎市社会福祉協議会 湘南地区担当 茂木香代子 様
7. 閉会の挨拶 湘南地区社会福祉協議会 副会長 大川 剛

以 上

